

— 2019年6月16日(日) —

ニュースレター No.1

【概要】

今年度の「ありみね高校生学びの森」には、11の高校から31名(男子17名、女子14名)の応募があり、また講師は、15の高校から22名の先生方に講師を引き受けていただきました。

令和元年6月16日(日)に、第1回目の「学びの森」を高校生28名、講師14名の参加で開催致しました。今期、第一回目の「学びの森」はあいにくの雨となり、参加生徒の安全を第一に考え当初計画を変更し午前中のみの活動としました。

午前10時に、ビジターセンター内で「始まりの会」を実施。有峰森林文化村次長、吉江の挨拶のあと、講師リーダー、堺先生より本日の活動内容の説明を受けました。講師及び参加生徒の自己紹介が終わった後、細口講師より野帳の使い方の指導を受け活動を開始しました。ビジターセンター内で哺乳類担当の福田講師よりネズミについて説明を受けてから2グループに分かれて野外活動調査に入りました。

午前中のみの活動で、猪根平にある旧有峰ハウス別館周辺で、両生類と植物の植生についての調査をしました。両生類の調査と植物の植生調査は、A班・B班の2グループに分け、40分サイクルで入れ替わり調査活動を実施しました。

哺乳類調査

ビジターセンター内で実施

<ネズミ>

- ・例年どおり、前日にシャーマントラップ(ネズミ捕獲用罠)を20個設置し、12匹を捕獲(ヒメネズミ6匹、アカネズミ匹)しました。例年にない捕獲数であった。
- ・先生からは、尻尾の長さで種類の違いが分かること、ヒメネズミは身体のわりに尻尾が長いことと、目がくりくりしているところに特徴があると説明を受けました。

両生類調査

- ・先生から調査開始前に、天候、気温、水温、pHのデータを野帳に記録するよう指導を受けました。天候は曇り、気温14.5℃、水温9.2℃、pH6.2(弱酸性)で、水質は両生類の生存に問題のないものでした。
- ・旧有峰ハウス別館裏ため池で、クロサンショウウオの卵塊を捕獲しました。
- ・モリアオガエルの卵塊を5個も発見しました。

植物調査

- ・永遠の木(ブナとミズナラがからみあって生長している木)の森でそれぞれの木を測定しました。まず、巻尺を使い自分の胸の高さで、木の周囲を測りました。その結果、永遠の木のブナは周囲が120cmあり、測定値から樹齢推定表を使って調べたところ、測定したブナは110年は経過している事が分かりました。
- ・永遠の木の森の中で、樹高測定をしました。

活動MAP

令和元年 6月16日 (日)

